

にいがた和牛推進協議会の活動について

にいがた和牛推進協議会は平成15年9月に設立され、2年経過しました。県内各地域の和牛銘柄を統一ブランド化し県産和牛の質的向上と販売促進による生産拡大を目指しています。主な活動内容は①東京市場出荷対策として新潟県産和牛の出荷予定表の送付、②表示の適正化のため、「産地証明書」、「ロゴシール」の発行、③にいがた和牛取り扱い指定店のガイドブックの発行、④消費拡大対策としてJR東日本・新幹線内にポスターの掲示、⑤牛肉料理レシピ・パンフレットの発行など取り組んでいます。生産振興対策では、①「にいがた和牛」枝肉共励会等の表彰、②「にいがた和牛肥育名人塾」事業を行っています。

生産振興対策事業

県内肥育農家の肥育技術の高位平準化を図り、「にいがた和牛」の枝肉生産量と品質の安定に努めるために以下の活動を行います。

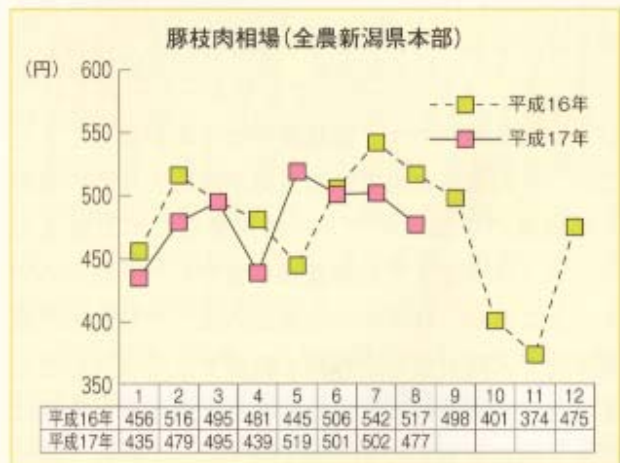
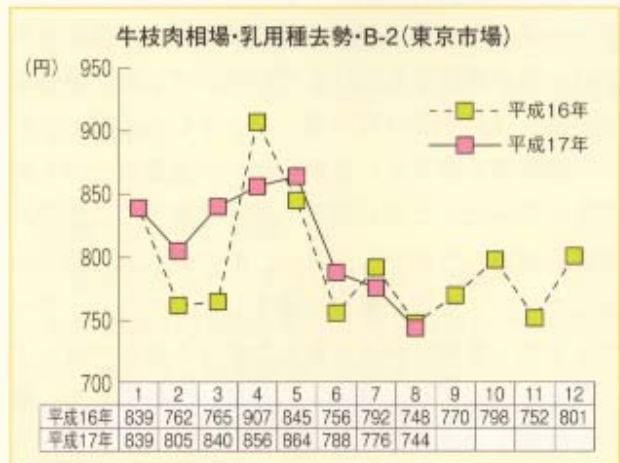
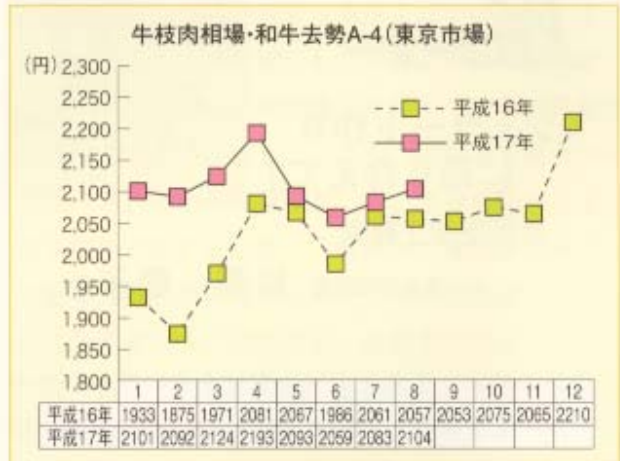
(1)にいがた和牛肥育名人認定事業

○肥育名人の認定

平成17年度の肥育名人は昨年同様に6名の方を認定致しました。なお、塾生は13名の方を選定致しました。

名人氏名	住所
成田 元	村上市仲間町
菅原 健一	村上市大関
漆間 平	村上市大関
坂上 秋男	胎内市鯨江
河内 松雄	胎内市下江端
久川 基	南魚沼市泉新田

畜産物市況



編集後記

先日「畜産に携わる女性ネットワーク発足式」に参加しました。全国各地域から畜産に携わる女性の方々が畜種を越えて多数出席されておりました。圧倒されたのは、発足宣言の後に2分間スピーチが始まってからでした。「ネットワークでやりたいこと」、「日頃の思い」を各地を代表する20名近い女性の方々がマイクにぶつけておりましたが、改めて畜産経営における女性の役割や重要性が再認識されたことでした。単なる労働力ではなく畜産経営の重要なパートナーであるという裏付けられた自覚。発言の中に「男性に任せておかない。自らがやっていることに自信を持ちたい。」という声に、これからの「女性ネットワーク」の活動に期待するところです。本県でも夫婦で頑張っすばらしい経営を展開している方々が多数おられます。今回の女性の視点を生かし、夢と希望にあふれた、魅力ある畜産業を構築していこうとする熱い思いに共感した次第です。(花田記)